

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成30年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	http://www.okk.or.jp

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部 高齢者福祉課 TEL : 097-506-2692
	所在地	大分市大津町2丁目1番4号		
	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ペット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	[該当なし]
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたることを除く。） ③12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル (5段階評価)	平成27年度	4.00	4.57	114.3%
	平成28年度	4.50	4.66	103.6%
	平成29年度	4.50	4.60	102.2%
	平成30年度	4.50	4.59	102.0%
利用者数 延べ利用者数	平成28年度	49,000	51,166	104.4%
	平成29年度	49,000	53,537	109.3%
	平成30年度	49,000	49,525	101.1%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	3,141	3,418	5,046	5,063	4,882	3,825	
	平成28年度	2,750	3,263	4,385	4,523	3,447	4,316	
	平成29年度	2,768	3,139	5,167	5,723	3,108	5,050	
	平成30年度	2,078	3,638	4,570	4,064	4,270	5,234	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	6,267	6,079	3,803	2,946	3,634	2,824	50,928
	平成28年度	7,154	7,472	3,969	2,840	3,419	3,628	51,166
	平成29年度	6,787	7,911	3,770	3,354	4,435	2,325	53,537
	平成30年度	6,359	7,074	4,265	3,075	2,842	2,056	49,525

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	全研修会において受講者アンケートを実施 アンケート内容: 内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 対象研修数: 68 対象者数: 23, 728名 回答者数: 22, 821名 回収率: 96. 2%
	実施結果	研修会等のアンケートの評価レベルについては、4. 59と目標数値を上回った。 ・最高: 4. 94 最低: 4. 21 平均4. 59 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果 テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価は高く、平均値は高水準で推移している。 ・意見についても、施設の整備・維持、職員の対応、研修内容、講師選定等に対し良好な評価を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
・介護・健康教室を初めて知った、多くの人に知らせてほしい等の広報に関する要望。		・新聞折込チラシ、新聞広告等幅広く広報を行っているが、さらに広報の充実を図る。
・同じ内容の研修を別の曜日にも開催するなど受講しやすい開催日設定の要望。		・同じ研修を土日にも開催したり、同じ研修で午前開催日・午後開催日を設定するなど、受講しやすい日程の工夫している。
・展示している福祉機器を利用した介護・介助技術の勉強会があると良いのでは等の研修企画の要望。		・福祉用具・介護ロボット等研修、リフトリーダー研修で福祉用具を活用した介護技術研修を実施している。
・洋式への改修要望や消毒液不足の苦情等トイレに関するもの。		・県へ要望し、R元年度、洋式へ改修予定。また定期点検を徹底するなど環境整備に努める。
・部屋が乾燥し、目がドライアイ症状のようになった等の苦情。		・加湿器を 작동させ湿度を調整している。さらに受講者に配慮した対応をしていく。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	① すべての研修会の受講者や、H30年度からは高齢者総合相談センター、福祉人材センター来所者にもアンケート調査をお願いし、また各階に「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞く機会を設けている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、対応できるものから速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて、玄関入口の掲示場所に掲示している。
	② 民間の福祉事業者・事業所の大幅な増加に対応して、福祉施設職員研修の案内について、各事業者・事業所あて直接電子メールで行うなど、広く、きめ細かく情報提供を行っている。一部研修ではメールに加え、紙文書でも研修案内を送付するなど、情報提供の強化を図った。また県民向け「介護健康教室」は新聞折込チラシの配布地域を広げるとともにタウン誌にも広告を掲載するなど広報の充実にも努めた。
	③ 少人数の集会や会合を中心に、「福祉用具・介護ロボットを活用したケアの紹介」、「福祉用具・介護ロボットの試用体験」等を行い、地域での普及・啓発に努めた。(9ヶ所: 1, 098名)
	④ 高齢者総合相談センターについて、認知症に関する困難事例等の相談が増加する中で、「認知症の人と家族の会 大分県支部」と連携した相談体制の充実にも努めたほか、隣接する住宅改造モデル展示場については案内看板の設置やリーフレットの作成・配布等の情報発信を行うとともに、福祉用具展示場に「住宅改造関連用具」展示コーナーを設けるなど、来場者の増加を図った。
	⑤ 求職者の求職活動の参考資料として、「福祉の仕事・資格ガイドブック」を作成・配布した。

イベント等の充実	① 福祉のしごと就職フェアの開催〔8月5日(日)、2月9日(土)〕 参加者数 580名 参加事業所 延べ152事業所 就職決定者数 43名
	② 「センターまつり&げんきフェア2018」(県保健医療団体協議会と共催実施/11月11日) こども(オトナも)が楽しめるワークショップの開催 (消しゴムはんこ&羊毛フェルトづくり、こども・福祉用具体験、おもしろ科学教室 など) 健康相談・体験コーナー、福祉用具アイデア作品展、福祉施設製品等の販売会、講演会等の実施 参加者数 1,500名
	③ ノーリフティングケアマネジメント研修の開催〔7月6日(金)〕 介護する側・される側双方において、安全で安心なノーリフティングケア(持ち上げない・抱えない・引きずらないケア)の普及をサポートし、職員の離職防止・定着促進や生産性の向上を図る。 講演 管理者等のトップの意識改革について 講師 一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 参加者数 130名
	④ 介護入門者研修の開催〔11月3日(土)、4日(日)、18日(日)、12月2日(日)〕 日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的技術の実践的手法について、介護未経験者が学ぶことができる。 内容「基礎講座」:3時間「入門講座」:18時間 参加者数 33名

8. 管理に係る収支の状況

(単位:千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入額(A)		210,289	210,306	209,344	204,812
内 訳	県からの委託料	153,044	152,528	152,528	152,458
	利用料金	40,590	41,779	43,565	38,071
	事業収入	484	484	354	354
	自主事業収入	8,781	9,377	9,099	8,909
	その他(繰入金)	7,390	6,138	3,798	5,020
支出額(B)		210,289	210,306	209,344	204,812
内 訳	人件費	108,993	108,698	106,245	104,030
	維持管理費	32,169	30,726	31,392	31,814
	事業費(指定管理)	32,246	33,235	34,696	34,404
	事業費(別途委託事業)	36,881	37,647	37,011	34,564
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	
	平成27年度							
平成28年度			〔該当なし〕					0
平成29年度							0	
平成30年度							0	
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
平成27年度								0
平成28年度								0
平成29年度								0
平成30年度							0	

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	所長（嘱託）－ 副所長（嘱託） <ul style="list-style-type: none"> ┌ 総務・人材部長（兼副所長） 部員 11（プロパー2 嘱託7 臨時2） ├ 介護研修・総合相談部長（嘱託） 部員 7（プロパー1 嘱託5 業務援助1） └ 社会福祉研修部長（プロパー） 部員 5（プロパー2 嘱託1 臨時1 業務援助1） 							
	職員数 (H 30.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	
	6		16	2	3			27

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	① OJTにより、職員の接遇向上に努めた。 ② 研修講師との打合せ会議、研修企画協議など、職員の研修企画力向上に努めた。 ③ 学会・関係機関等が開催する専門研修へ積極的に参加し、専門知識及びスキルを深めた。 ・福祉人材情報システム研修会（東京都） ・福祉人材センター業務・法令研修会（東京都） ・日本老年泌尿器科学会（福井県） ・職業紹介責任者講習会（福岡市） ・福利厚生センター全国連絡会議（東京都） ・北九州市福祉人材バンク「福祉のしごと合同面接会」視察（北九州市） ・社会福祉研修実施機関代表者連絡会議（福島県） ・全国福祉人材センター全国連絡会議（東京都） ・東京国際福祉機器展（東京都） ・認知症介護実践者等養成にかかる都道府県等担当者セミナー ・九州ブロック福祉人材・社会福祉研修実施機関連絡会議（宮崎市） ・福祉人材センター・バンク基幹職員会議（東京都） ・全国福祉用具相談・研修機関協議会（大阪市） ・西日本国際福祉機器展（北九州市） ・会計実務講座第5回社協会計中級コース（神奈川県） ・福岡県介護支援専門員更新研修「認知症の事例」視察（福岡県北九州市） ・介護ロボット全国フォーラム2018（東京都有明） ・全国介護支援専門員研修向上会議（東京都） ・高齢者疑似体験インストラクター養成研修会（東京都） ・地域の身近な拠点づくり推進セミナー（東京都）
防災に関する研修・訓練	① 年度当初に、「施設管理マニュアル」・「事故等対応マニュアル」・「新型インフルエンザ対応マニュアル」・「ノロウイルス対応マニュアル」の周知徹底を図るための職員研修を実施するとともに、平常時からの危機管理意識の保持に努めた。 ② 消防計画を職員に周知するとともに総合消防訓練（年1回）、救急法（人工呼吸・AED操作）研修会を開催し、緊急の際には、全職員が適切な対応ができる体制とした。 ③ 広島県豪雨災害のボランティアとして坂町に1名派遣。災害ボランティアとして派遣であるが、同時に大分県で災害がおこった際の訓練としての役割も持つ。
安全対策等	① 危険物の保管箇所については、施錠による厳重な管理を行った。 ② 防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。 ③ 危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。 ④ エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。